

令和5年度事業報告書概要（お台場海浜公園外11公園）

指定管理者：東京臨海副都心グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

- ・ お台場海浜公園、シンボルプロムナード公園の便所清掃

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和やインバウンドが戻り始めたことから、毎日の衛生器具等の清掃を実施するとともに巡回により汚れを発見した際は即座に清掃を行いました。

- ・ シンボルプロムナード公園の緑地管理

芝刈り・草刈り等の植込み地管理作業を、該当箇所の利用用途や植物の生育状況に応じて実施しました。基準以上の回数を実施し、維持管理に努めることで来園者がいつでも快適に過ごせる空間を提供しました。

- ・ 有明親水海浜公園の無許可販売対応

イベント時の無許可での物品販売に対し、声掛けや立て看板、張り紙などにより禁止行為への是正措置を実施し、状況に応じて警察への協力も要請するなど来園者が安全かつ快適に過ごせるよう対応しました。



【無許可販売現況】



【有明アリーナ・指定管理者で連動した対策】

< 無許可販売対応 >



【ベンチ張り紙】

- ・ 施設管理の徹底

適切に管理するため担当制を設け、点検を充実させることで不具合の発見に努めるとともに、対応状況の進捗を管理し集中的かつ確実に改善しました。改善内容は今後の参考となるようデータを蓄積しています。

○ 安全性の確保

- ・ 緊急時アクションマニュアルの確認、防災訓練実施等

東京都防災会議の「東京都の新たな被害想定」における首都直下型地震や南海トラフ地震などの津波被害に対して、緊急時アクションマニュアルにおける避難誘導内容に問題がないか確認し、迅速で安全な避難誘導訓練を実施しました。

また、地震発生時の一時滞在先として、一時滞在施設運営マニュアルの待機区画を外国人や妊産婦等の要配慮者により配慮した区分けへ改訂し、ピクトサインを作成するなど準備を行いました。



< 防災訓練 >

- ・ お台場海浜公園、有明親水海浜公園へピクトサインを設置

公園内での禁止事項を日本語とピクトグラムで表記した看板を設置し、外国人を含めた公園利用者に対し利用マナーの周知に努めました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・お台場海浜公園 コンコルディアの実施

最先端のデジタル技術を駆使して光と音が織りなす幻想的なプロジェクションマッピングイベントを実施し、夜の観光コンテンツの創出、臨海副都心のPR及び周辺地域への回遊につなげるというプロジェクトの目的を実現しました。当初目標数の5万2千人を上回る13万人以上の来園者に足を運んでいただき、アンケートにおいても「とても素敵な空間だった」「画期的」など好意的な意見が多数でした。



<コンコルディア（プロジェクションマッピングイベント）>

・シンボルプロムナード公園 チューリップ花壇形成・チューリップフェスティバルの実施

チューリップの一大産地である富山県砺波市とタイアップして関東最多数の300品種16万球のチューリップを植栽し、園内3か所に見どころとなる大規模な花壇を形成しました。また、チューリップフェスティバルを開催し、切り花のプレゼントやトリックアートフォトスポット設置のほか、花壇形成で提携した富山の物産展が出店するなどして来園者に大いに楽しんでもいただきました。



【セントラル広場（調和の花壇・11万球）】 【石と光の広場（流れの花壇・4万球）】 【日本科学未来館前（300品種の見本園・1万球）】

<チューリップ花壇>

・有明親水海浜公園 地元保育園との協働事業及び環境学習の実施

地元保育園と協働して園内の花植えや植樹作業を行いました。また園内で見られる花や渡り鳥の観察会を行うなど、環境学習を通じて公園の新たな楽しさを伝えました。

○ 利用の状況

・お台場海浜公園

新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、またイベントが多数開催されたことにより、前年度に比べ利用者が増加しました。

○ 行政目的の達成

・東京都施工工事への協力

青海橋、あけみ橋、有明ふ頭橋での工事に際して、公園の一部利用不可となるため、支障物の有無や閉鎖区画の確認、来園者の動線確保など関係者と確認・調整を行い円滑な工事の進行に協力しました。

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		679,677
内 訳	指 定 管 理 料	679,677
	利 用 料 金	
支 出 計		673,184
収 支 差		6,493

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。